

Zone A テーマ：子どもの主体的な学びを支えるコミュニティ

～主体的な学びのプロセスを問い直す～

Zone Aでは「子どもの主体的な学びを支えるコミュニティ」をテーマとして掲げ、子どもの学びのプロセスを大切にしながら、子どもたちの遊びや生活、学習、そして大人たちが学び合っていく活動を展開していくことについて考えてきました。「主体的・対話的で深い学び」と同時に「チーム学校」「こどもまんなか社会」「co-agency」といったことが提起されてきたように、今、子どもたちが主体的に学びを深めていくために、学校や園、そして、地域で支えていくことが求められています。

前回のシンポジウムでは、保育者が子どもたちの遊びの展開を丁寧に見とりながら遊びの環境を工夫し、子どもたちと共に遊びを深めていく保育者の姿に学びました。また、中学校の教師が、子どもと共に授業研究会等で語り合う中で新たな気づきや問いにふれ、学習活動を再構成していく教師の姿に学びました。

私たちは、常に子どもに学びながら実践を変えていこうとする教師の姿勢に注目してきましたが、あらためて、「子ども主体」という時、「教師はどこに立っている」といえるのでしょうか。「教師主導」でなく、また子どもの「後追い」でもない教師の立ち位置、授業とは、どのようなものなのでしょうか。また、子どもの主体的な学習は、教科学習において、どのように実現可能なのでしょうか。評価との兼ね合いの中で、悩みながらこれらの問いに向き合っている方も多いのではないかと思います。

今回のシンポジウムでは、小学校の実践から、教師が単元当初に意図や計画を持ちながら、子どもたちの学びの様子からそれらを変容させ、子どもたちと共に授業を展開してきたプロセスを報告していただきます。また、高校の実践から、教科学習において、評価も意識しながら、どのように子ども主体の学びを実現しようとしているのか、そのプロセスを報告していただきます。「主体的な学び」のプロセスを、参加者の皆様と一緒に探っていきたいと思います。

☆ハイブリッド開催

| | | |
|-------------|-------------|-----------|
| Connection | 14：30-14：40 | オンライン接続 |
| Orientation | 14：40-14：50 | オリエンテーション |

【Session I】

Symposium 「子どもの主体的な学びを支えるコミュニティ」
～主体的な学びのプロセスを問いなおす～

<シンポジウム>

| | | | |
|--------------------|--------------|----|-------|
| 14：50-15：10 | 富山県富山市立堀川小学校 | 教諭 | 大津賀悟史 |
| 15：10-15：30 | 福井県立若狭高等学校 | 教諭 | 横田和也 |
| コーディネーター：福井大学教職大学院 | | | 香山太輝 |

<全体> 15：30-16：00

私たちは、「主体的な学び」を子どもとの相互作用を通してどのように組織していくことができるのか、話題提供をふまえて皆様と共に探っていきます。

<休憩> 16：00-16：20

【Session II】 16：20-17：40 Cross-session

Session Iの議論に基づき、参加者それぞれの学校づくりの長い実践を共有し、新たな出会いと協働を編み込んでいきます。校種等をクロスした小グループ形式での対話を編み込み、実践をデザインし、展望を生み出します。